

予算審査特別委員会での審査状況

平成21年度予算

一般・特別・企業会計

総額 598億7186万円

平成21年度一般会計及び各特別会計並びに各企業会計予算を審査する特別委員会（議員全員で構成）は、3月18日・23日の2日間にわたり開催され、市当局と議員との質疑応答を経て、いずれも原案どおり可決されました。

特別委員会での主な質疑は次のとおりです。

一般会計から

質疑 法人税率の調定見込額はどのような出し方をしていくのか。

答弁 昨年十二月に公表された地方税収の見込みから、法人市民税が約三〇%落ちると見込み、二十年度の最終調定見込額に三〇%を掛けたものが予算ということになっている。

質疑 大体市税は減額で予算を組んでいるが、軽自動車税だけ増収を見込んでいる根拠を伺いたい。

答弁 税に関しては、軽自動車税を除いてほとんど減額になっている。軽自動車税の増収の根拠は、経済不況や燃料高騰が反映され、軽自動車に乗る方が多くなったという考えの中で増えている。

質疑 現代美術館の観覧料において、入館者をどの程度考えているか。

答弁 常設展三万人、企画展二万三千人を計画している。

質疑 十和田湖の境界確定事業において、十和田市に与えられた交付金だけ出ているが、各県、各市町がそれぞれ事業を行うということなのか。

答弁 それぞれ独自で実施する事業や両県、両市町で実施する事業等いろいろな組み合わせがある。事業については、毎年四者で協議の上で決めていく。合意ができれば長いスパンのものにも取り組んでいくことも考えられる。



予算審査特別委員会

質疑 十和田湖支所の運営方針について伺いたい。

答弁 現在は、旧市、旧町限定的ではなく、全市的に取り組みが行われているが、今後、市民から旧町としての独自の組織化や事業化への要望等があれば、それに関与しながら積極的に進めていきたい。

質疑 病院駐車場が有料になるが、その際の市役所駐車場（無料）との整理の仕方について伺いたい。

答弁 病院の駐車場ができ、有料化されると病院来院者が市役所駐車場を利用することが考えられる。今後、看板等を設置しながら、来庁者に対してPRしていきたい。

質疑 仲よし会には希望者全員入れているのか。

答弁 現在待機者が一名いる状況であり、希望者については、ほぼ入会できていると理解している。

質疑 緊急雇用創出事業は、どんな事業をするのか。

答弁 一つ目は、十和田市緑地環境美化事業で、市内全域の街路樹剪定等を行う。二つ目は、道路施設維持適正化事業で、幹線道路等の清掃業務等を行う。三つ目は、高森山運動公園環境整備事業で、運動公園内施設の維持管理を行う。各事業の雇用人数はそれぞれ四人を見込んでいる。

質疑 農業において、前々から担い手ということで補助金を出しているが、その効果はどう出ているのか。

答弁 認定農業者は七百三十名、集落営農は三十二経営体を認定している。現在の農業情勢、厳しい経済状況の中でなかなか効果がでていないと思うが、これから庁内に設置するプロジェクトチームや農商工連携、農協等の関係団体等の力を借りて農家の所得拡大につながるよう持っていきたい。

質疑 ため池等整備事業費とあるが、場所はどこになるのか。

答弁 大惣辺トンネルの崩落によるところの補修で、トンネル入り口から数十メートルのところです。

質疑 野菜安定化基金から繰り入れしているが、その目的は。

答弁 十和田市の野菜振興に資する活用のために積み立てしていたものだが、今回特にニシンの振興というところで取り崩して対策を講ずることとしている。

質疑 アーツトワダ・プロジェクトプランとはどういう事業か。

答弁 野外芸術文化ゾーンのように広げたらよいか専門家等のアドバイスを受けながら、アートによるまちづくりガイドラインの策定や街なかの景観についての方向を定めるための景観整備事業等の調査を行う事業である。

質疑 消防屯所建設工事のこれまでの経過について伺いたい。

答弁 消防団にかかわる消防施設整備の充実というところで、これまで消防自動車の整備を進めてきた。その整備が一段落したことを受けて、次年度から消防屯所を整備していくこととしている。

